

事業者番号

## 貨物利用運送事業実績報告書

貨物利用運送事業実績総括表  
( 年度)

住 業 者 名   
運送機関の種類

第一種貨物利用運送事業(外航・内航・国際航空・国内航空・鉄道・自動車)  
第二種貨物利用運送事業(外航・内航・国際航空・国内航空・鉄道)

運送機関別事業実績

運送機関	事 項		事 業 の 種 別		合 計
			第一種貨物利用運送事業	第二種貨物利用運送事業	
外航海運	F C L				
	取扱量				
内航海運	F C L				
	取扱量				
国際航空	取扱量				
国内航空	取扱量				
鉄 道	取 扱 量	車 扱			
		コンテナ扱			
		混載荷物扱			
		手荷物扱			
	小 計				
自動車	取扱量		/		
合 計	取扱量				

備考

1. 運送機関の種類該当項目に○印を付すること。
2. 必要のない項目については、省略して様式を作成することができる。
3. 単位はトン単位（F C Lについてはトン換算）にて記載すること。

事業者番号

## 国際貨物運送仕向地別取扱量

（ 年度）

住 所 \_\_\_\_\_  
 事 業 者 名 \_\_\_\_\_  
 運 送 機 関 の 種 類 \_\_\_\_\_  
第一種貨物利用運送事業(外航・内航・国際航空・国内航空・鉄道・自動車)  
 第二種貨物利用運送事業(外航・内航・国際航空・国内航空・鉄道)

運送機関別取扱量

運送機関	種 別	事 項	仕 向 地							
			北 米	中 南 米	ヨ ー ロ ッ パ	ア ジ ア	豪 州	ア フ リ カ		
外航海運	第一種貨物 利用運送事業	取 扱 量	F C L							
		比 率 ( % )								
		第二種貨物 利用運送事業	取 扱 量	F C L						
		比 率 ( % )								
	合 計	取 扱 量	F C L							
		比 率 ( % )								
	国際航空	第一種貨物 利用運送事業	取 扱 量							
				比 率 ( % )						
第二種貨物 利用運送事業		取 扱 量								
			比 率 ( % )							
合 計		取 扱 量								
			比 率 ( % )							

備考

1. 運送機関の種類該当項目に○を付すること。
2. 必要のない項目については、省略して様式を作成することができる。
3. 取扱量の単位はトン単位（FCLについてはトン換算）にて記載すること。
4. 仕向地は、最終仕向地とすること。
5. 比率は、合計量に占める仕向地ごとの取扱量の割合を記載すること。

別紙 3

鉄道貨物利用運送事業駅別取扱実績 ( 運輸局管内 )  
 ( 年 4 月 1 日 ~ 年 3 月 3 1 日 )

鉄道貨物利用運送事業収入 (千円)

事業者名 \_\_\_\_\_ (単位: トン)

駅別	種別 発着別	第一種貨物利用運送事業					第二種貨物利用運送事業				
		車扱	コンテナ扱	混載貨物扱	手小荷物扱	計	車扱	コンテナ扱	混載貨物扱	手小荷物扱	計
駅	發送	専用線等の發貨物 [鉄道貨物利用運送事業者からの受託貨物]					荷主から受けた發貨物 [鉄道利用運送事業者からの受託貨物]				
	到着						自社發の到着貨物 (運送事業者からの受託貨物)				
	計										
駅	發送										
	到着										
	計										
駅	發送										
	到着										
	計										
駅	發送										
	到着										
	計										
合計	發送										
	到着										
	計										

- 備考
1. トン数は、運賃計算重量によるものとし、小数点1位以下を四捨五入して、整数で計上する事。ただし、手小荷物については、小数点2位以下を四捨五入して小数点1位まで計上すること。
  2. コンテナ扱のトン数は、コンテナ1個あたりの最大積載重量トンによること。
  3. 第一種貨物利用運送事業、第二種貨物利用運送事業の区別が困難である場合は、主な事業に一括計上すること。この場合一括計上した旨掲載すること。
  4. 他の貨物利用運送事業者から受託した取扱量は、当該欄へ外数として [ ] で記載すること。





### 国際航空宅配便事業取扱実績

( 年4月1日～ 年3月31日)

事業者名 \_\_\_\_\_

[輸出]

[輸入]

仕向地帯	クーリエ		S P		合 計	
	件 数	重 量	件 数	重 量	件 数	重 量
北 米	件	kg	件	kg	件	kg
中 南 米						
ヨーロッパ						
ア ジ ア						
豪 州						
ア フ リ カ						
合 計						

仕向地帯	クーリエ		S P		合 計	
	件 数	重 量	件 数	重 量	件 数	重 量
北 米	件	kg	件	kg	件	kg
中 南 米						
ヨーロッパ						
ア ジ ア						
豪 州						
ア フ リ カ						
合 計						





外航海運貨物利用運送事業取扱実績

( 年4月1日～ 年3月31日)

[シー・アンド・エア輸送実績]

事業者名

仕向地帯	シー・エア積替地帯										合 計	
	北 米 経 由		中 米 経 由		極 東 経 由		東 南 ア ジ ア 経 由		そ の 他 経 由			
	件 数	重 量	件 数	重 量	件 数	重 量	件 数	重 量	件 数	重 量	件 数	重 量
北 米	件	kg	件	kg	件	kg	件	kg	件	kg	件	kg
中 南 米												
ヨ ー ロ ッ パ												
中 近 東												
ア フ リ カ												
そ の 他												
合 計												

備 考

1. 日本を積出地とするすべてのシー・エア貨物を対照とするが、二重計算を避けるため荷主から直接集荷した貨物（自社商品/他社商品にかかわらず）のみ記載すること。
2. 運送証券の発行日付に基づき集計し、1キログラム未満は四捨五入する。